

令和8年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立音戸小学校
(音戸中学校区)

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	+1.1	+2.6
令和7年度	-0.8	-5.0
令和6年度	+3.3	+12.6
令和5年度	-0.2	-2.5
令和4年度	+4.4	+3.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 言葉の特徴や使い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと 情報の扱い方 全国平均 60.9 % 県平均 64 % 本校 62 %	重点課題 ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。(設問2一)【書くこと】(平均正答率 33.3%) (全国ー24.6%) ◇言葉の理解や目的に応じた引用、叙述に基づくまとめ方に課題があり、自分の考えが伝わるよう工夫して表現することに課題がある。 改善の方策 ◎説明的な文章の学習では、文章全体の構成や、「考えと理由や事例」「原因と結果」「疑問と解決」等、つながりや配列の効果についても捉えさせる。また、目的や意図に応じて文章を書く際にも意識させる。 ◇既習の漢字や国語辞典、ICT を効果的に活用する学習を設定する。また、引用の仕方を確認して自分の考えに説得力をもたせる文章の作成や、目標を明確にして叙述を基に考えをまとめ、グループ交流を経て自身の考えを再構築する学習を展開する。 検証 ◎全国学力(設問2一)(第5・6学年, 12月) 目標 70%→結果 % ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%の未満の児童の割合 目標 0%→結果 %
算数 数と計算 データの活用 図形 測定 変化と関係 全国平均 56.4 % 県平均 58 % 本校 59 %	重点課題 ◎二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。(設問4(3))【Dデータの活用】(平均正答率 6.7%) (全国ー11.2%) ◇図形を構成する要素や位置関係に着目して考えたり、根拠となる図形の性質を用いて説明したりすることに課題がある。 改善の方策 ◎問題を解決するために二次元の表を作成したり、必要な数値を読み取ったりする学習活動を仕組む。 ◇具体物や ICT を用い、図形の観察や操作等の活動を充実させ、図形についての感覚を豊かにする。また、数学における用語を用いて数学的に表現する力を高められるように日々の授業で取り組む。 検証 ◎全国学力(設問4(3)類似問題)(第5・6学年, 12月) 目標 70%→結果 % ※類似問題は数字を変えて作成する。

【来年度に向けて】